

5/4 朝日

「知る権利行使のため会見」

東京新聞・望月記者が講演

憲法記念日の3日、福井市手寄1丁目のアオッサで「憲法を守り育てる集会」があり、首相官邸の草官房長官の会見でのやりとりが注目されている東京新聞社会部の記者、望月衣塑子さん(43)が「民主主義とは何か—安倍政権とメディアー」と題して講演した。約450人が耳を傾けた。

集会は市民団体「戦争す



官房長官会見について
語る望月衣塑子さん＝
福井市手寄1丁目

る国づくり反対！ 福井経がかりアクション」と「9条の会・ふくい」が主催した。講演の後、参加者たちは県庁周辺をデモ行進し、憲法を守ろうと訴えた。

望月さんは、森友学園や加計学園をめぐる疑惑などがきっかけで、官房長官会見に出席するようになつた。「色々しがらみのある番記者たちが質問しにくいくつづけてきた。

従来は、質問する記者がいなくなるまで続けるのが慣例だったという官房長官会見だが、次第に挙手しても指名してもらえないかつたり、会見が打ち切られたりするようになつたという。

「今どういう問題が起きているのかをつまびらかにして、国民の知る権利行使するためには会見はある」と望月さんは強調した。

(南有紀)